

2月の絵本・おはなしだより

年長組

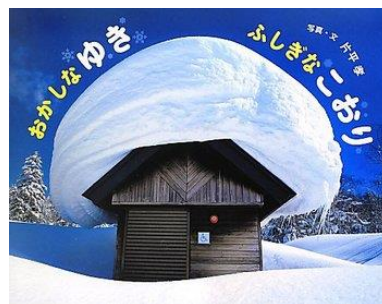
絵本

「せつぶんだ まめまきだ」

桜井 信夫 作
赤坂 三好 絵
教育画劇



昔、冬から春へと季節が変わる頃に、人々は豆まきをし、いわしを焼いてその頭をヒイラギの枝にさして、悪い鬼を追い払うことを始めました。硬い豆や、焼くと煙がたくさん出るいわし、ちくちくとトゲの痛いヒイラギ、それぞれに意味があり、節分は家族一人ひとりが悪いことから守られるようにとの願いを込めて行う行事であることを、昔話風にわかりやすく説明してくれている一冊です。



絵本

「おかしなゆき
ふしぎなこおり」

片平 孝 作/絵
ポプラ社

冬の日。外へ出かけてみると、雪や氷のおかしな、ふしぎなかたちが見つかります。

きれいで、迫力あふれる冬の写真絵本です。

年中組

絵本

「ちょうど そのころ
ろばさんは？」

香山 美子 作
夏目 尚吾 絵
すずき出版

毎日雪が降ったり、やんだりきつねさんはとても退屈でした。そこでクッキーをたくさん焼きました。

一人で食べていてもつまらないので、「ろばさんの家に行ってみよう」と思いついたきつねさん。

ろばさんの家に行ってみると、留守でした。でも、雪の上の足跡をたどっていくと……。

寒い日も思わず外へ出たくなるお話です。



絵本

「しりとりのだいすきな
おうさま」

中村 翔子 作
はた こうしろう 絵
すずき出版

あるお城にしりとり大好きな王様が住んでいました。おうさま、まど、ドア・・・なんでもしりとりにならないと気がすみません。家具の並べ方も、料理の順番もしりとりなので、家来たちは困っていました。そこで、家来たちは何やらひそひそと相談を始めました。その作戦とは??王様はどうなったのでしょうか。

年少組

絵本

「おおきなおおきなにんじん」

刀根 里衣 作/絵
小学館

うさぎの兄弟が畑で大きなにんじんを見つけました。「これで何ができるかな？」うさぎの兄弟はみんながにっこりする使い道を考えることにしました。「これで、なにができるかな？なにができるかな？」「そうだなあ、ヨットかふねになるんじゃない？」「そらをとべるんじゃない？」想像力を膨らませる絵本です。



絵本

「だるまちゃんと
うさぎちゃん」

加古 里子作/絵
福音館書店

雪がどっさり降ったので、だるまちゃんとだるまこちゃんはさっそく雪だるまを作りました。だるまちゃんは、雪だるまの目にりんごをつけようとしたのですが、手が滑って坂をどンドン転がっていきました。りんごを止めたのは雪や、リンゴや、紙や食器などを使って色々な遊びを考え出します。